

都議会民進党 Report 2017 レポート

新春号

発 行：都議会民進党政務調査会
〒163-8001　東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784
http：//www.togikai-minshinto.jp/

いしげ 東京都議会議員 石毛しげる

特集 豊洲新市場視察報告

都民の食の安全・安心を目指して



問題山積の豊洲新市場

世界一を目指す東京の台所の安全・安心が脅かされています。

都議会民進党では、昨年の9月12日、16日、23日と3回豊洲市場を視察しました。特に16日の視察では主要3施設とともに加工パッケージ棟の視察を当局に求めたところ、一部の施設は5月に引き渡しが済んでいるにも関わらず、引き渡しが済んでいないとの理由で視察を断られました。私は、昨年の10月7日の経済港湾委員会で質疑にたちましたが、中央卸売市場の職員からの答弁はあいまいであったり、海苔弁当のような真っ黒い資料が開示されたりと、原因を解明しようとする姿勢が見られず失望感を受けたところです。

そもそも、この度の視察でも昨年の秋から何度も当局に申し入れをしていたもので、ようやく実現したものです。最初の視察を求めてから実に1年以上の歳月が経っています。

建物の地下へはライトを持って、長靴を履いての視察でした。ライトが照らす先にはいつまで経っても解明出来ない豊洲市場問題の闇を照らすようでした。



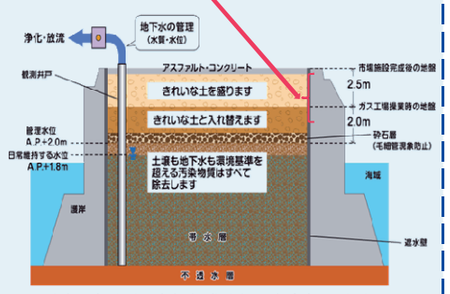
水産卸売市場棟地下ピット構造の説明を聞く
現地視察 ①

1 盛り土問題について

建物下に土壌汚染対策の盛り土がなく、実際には地下空洞となっていた問題です。

その後、技術会議の複数の元委員たちが「作業空間をつくる認識はなかった」と証言しており、都が技術会議録を改ざんした可能性も否めません。

今後は都民の信頼回復に向け、都政の見える化に向けた情報公開の徹底が不可欠とされます。



当初、都より示された盛り土図東京都HPより

2 地下水のモニタリング結果について

昨年、9月29日公表の第8回地下水モニタリング結果では、5街区の3か所において、環境基準値を超える有害物質が検出されました。これまで都が行ってきた土壌汚染対策において、調査の結果、対策工事の経過など徹底した検証が必要と考えます。一方で、移転に向けて準備をしていた市場業者へのケアも忘れてはなりません。経済的にも多大な損失を被り、先行きの見えない大きな不安を抱えています。もちろん安全・安心を第一に据えて、早急に対策・対応を講じていかねばなりません。

3 そもそも移転先がガス工場の跡地なのはどうして

このような事態が生じた今、そもそもなぜ生鮮食品を扱う市場の移転先として、ガス工場の跡地として選ばれたのか、その経緯を改めて検証する必要があります。

東京ガスとの交渉経過については、2010年3月18日の経済・港湾委員会において、我が会派の議員が取り上げております。この時の会議の内容も殆ど黒塗りであり、情報公開が有名無実化されています。

東京ガスとの交渉では、用地取得費だけではなく、78億円の土壌汚染対策費など、さまざまな疑念が寄せられています。

そこで、東京都と東京ガスとの交渉経過を黒塗りでない状態で情報公開をすることで、問題の解明・見直しに繋がると考えます。



水産卸売市場棟地下の説明を聞く 現地視察 ②

4 安全・安心な市場を目指して





経済・港湾委員会での質問に立つ 石毛しげる　昨年10月7日

私は経済・港湾委員会にて、豊洲新市場のこれまでの数々の問題を踏まえ、移転問題に関する特別委員会の設置を求めました。

その結果、豊洲市場移転問題特別委員会が設置されました。

築地市場は70年間かけて先人の礎の上に信頼を得てきました。

都民の信頼回復に向けて最善の努力を期待します。

平成28年厚生委員会事務事業質疑　11月22日

● 都立病院の多様な治療の選択について　石毛しげる　質疑 Q&A 応答

私は昨年、都立多摩総合医療センターを受診し、その際、ヘルニアと診断され、2泊3日の手術入院とのことでした。
私たち忙しい現代人にとって、仕事の都合等で医療休暇を取ることは難しいのが現状です。多くの民間の医療機関では、この事例も含み、多岐にわたる手術を必要とする症状において日帰り手術が実施されています。もちろん症状にもよりますが、そこで都立病院においても日帰りを含む複数の治癒選択があれば、さらに患者にとっては大変便利でありがたいと思います。また、ベッドの有効利用の観点からも、日帰り手術を推進することは、病院経営上もメリットがあると考えます。特に、大規模で広域的な観点で基幹となっている病院では、その効果が大きいと思います。都立多摩総合医療センターと都立墨東病院の状況から伺います。

Q1　都立多摩総合医療センターと都立墨東病院の27年度の病床使用率及び予約入院の平均待ち日数について伺います。

A1　＜サービス推進部長＞
平成27年度の病床利用率は、都立多摩総合医療センターで 90.4%、都立墨東病院で 87.7%、また、予約入院の平均待ち日数は、昨年の 9月時点で、都立多摩総合医療センターで 27.46日、都立墨東病院で 20.4日です。

Q2　両病院とも病床利用率が 90%前後と高水準となっています。また、予約入院の待機日数も 20日以上になっていることから、高水準の病床利用率を維持しながら、患者の入院待ち日数を減らすためには、手術に伴う入院日数を減らしていくことが効果的で、中でも日帰り手術は有効ではないかと思います。両院における日帰り手術の導入について伺います。

A2　＜サービス推進部長＞
日帰り手術は、仕事や家庭の都合で長期間の入院が難しい方にとって、利便性の高いシステムであるとともに、身体への負担を最小限に抑えた手術を行うため、速やかに日常生活に復帰することが可能となり、また、病院にとっては短期滞在手術を日帰り手術に移行することで、入院病床の有効利用にもつながります。こうしたことから、都立多摩総合医療センターでは、外科、整形外科など 9つの診療科で計100種類弱の日帰り手術を実施しています。
また、都立墨東病院では、平成28年1月から「日帰り手術センター」を開設し、皮膚科など 5つの診療科において日帰り手術を導入しています。

Q3　都立多摩総合医療センターのように既に100種類近くも日帰り手術を行っている病院もあれば、都立墨東病院のように、昨年開始した病院もあります。都立多摩総合医療センターの日帰り手術においては、どのような手術を行っているのか、また、利用した患者さんへのアンケートや感想があれば、どのような意見が出ているか伺います。

A3　＜サービス推進部長＞
都立多摩総合医療センターにおいては、高度な総合医療基盤を活用して、様々な日帰り手術を実施しています。

裏面につづく

表面より

たとえば形成外科は、地域に診療科自体を設置している医療機関が多くないことから、皮膚皮下腫瘍摘出手術やリンパ節摘出術などを行っています。また、整形外科では靭帯修復術、眼科では後発白内障手術、耳鼻咽喉科では鼻腔粘膜凝固術などを実施しています。

日帰り手術利用者アンケート調査は行っていませんが、利用した方からは、「子どもを預ける必要がない」、「何日も入院せず良かった」など、利便性に関する感想が多く聞かれます。

Q4　日帰り手術の導入にあたっては、様々な条件や制約もありますが、都立病院において日帰り手術を拡充すべきと考えますが、見解を伺います。

A4　＜サービス推進部長＞

日帰り手術の導入にあたっては、麻酔管理などの患者の安全を第一に考慮したうえで、病院の設置・人員の状況や地域ニーズなどを総合的に勘案しながら対象となる手術を選定しています。

実施の段階では、患者本人の希望、生活の自立度、術後の合併症の危険性など、個々の人の条件を見極めたうえで、日帰り手術の適用を決定します。

日帰り手術が適用となった場合においても、手術後の容態などによっては安全のため 1泊入院とするなど柔軟に対応しています。

今後も、患者にとっての治療の選択肢を増やす観点からも、医療技術の動向などを考慮しながら、入院期間を短縮できる診療科や手術を拡大し、一層のサービス向上を図っていきます。

Q5　患者が安全に手術を受けられることは絶対条件であり、そうした面を考慮しながらも、患者サービスに資する取り組みですので、ぜひ充実していただきたいと思います。
患者の選択肢が広がっても、治療方法など必要な情報が患者に適切に提示されないと意味がありません。
各都立病院が実施している治療方法について、どのように周知しているのか伺います。

A5　＜サービス推進部長＞

治療方法の周知は、各都立病院のホームページで診療科が取り扱う主な疾病や治療方法を紹介しており、患者が都立病院の医療の質を継続的に評価できるよう、「臨床評価指標」を導入し、主要手術の件数・患者受入れ実績、患者満足度などの数値を公表しています。

診療の現場はでは、治療方法や薬の内容について患者に十分な説明を行い同意を得たうえで治療を行うことを徹底しています。

さらに、各都立病院では、地域の医療機関に向け「連絡だより」を発行し、地域のかかりつけ医が患者に対して当該病院の適切な診療科を紹介できるよう、診療科の体制、実施可能な手術や検査等を周知しています。

Topics　第31回オリンピック競技大会（リオデジャネイロ）の視察を行いました

昨年 8月25日視察を終えて帰国いたしました。多くの皆様のおかげで大変有意義な視察となりました。心より感謝申し上げます。この視察調査をとりまとめ、2020年の東京大会へ活かしてまいります。

視察報告 −1



R10　ジャパン・ハウス



オリンピックグッズ販売

リオデジャネイロ大会のジャパンハウスです。オリンピック・パラリンピックにあわせて、大会会場や選手村から近い場所にジャパンハウスを開設し、2020年東京大会をはじめ日本や東京のPRを行っています。

ジャパンハウスの目的は、東京や日本に興味を持って頂き、2020年の東京大会にお越し頂くための第一歩をつくることです。

各プログラムとも、海外の多くの方が来場し、大盛況となっていました。

これは、招致段階であった2012年のロンドン大会でも開設されました。

現地のリオデジャネイロの人々や海外からの観戦客、メディアの皆さんに足を運んでもらおうと、魅力的なイベントを連日、開催しました。当初予想していた以上の6万人を超える方に御来場頂き、ブラジル国内外のメディアで報道されるなど大きな成果を収めました。

視察報告 −2

オリンピック・パラリンピックは、スポーツの祭典というだけでなく、文化の祭典でもあります。オリンピック・パラリンピックの開催前、開催期間中を通じて、国内外に文化の発信・披瀝を文化プログラムとして行います。2020年東京大会の文化プログラムの一環として、東京都とアーツカウンシル東京が、リオデジャネイロにおいて、日本や東京の文化を発信しました。



リオデジャネイロ 大会開会式
日本選手団の入場

野田秀樹氏監修の東京スカパラダイスオーケストラや能楽師の津村禮治郎氏等による文化大サーカスともいうべき「東京キャラバン」、日比野克彦氏監修によるアートプロジェクトの「TURN」、東京と被災地東北の復興と世界への感謝を込めた「TOHOKU＆TOKYO in Rio」の3つのプロジェクトです。

特に、「TOHOKU＆TOKYO in Rio」は東京の江戸鳶木遣りに、福島県のじゃんがら念仏踊り、岩手県の鬼剣舞を加えて、さらに日本とブラジルの友好の証として、日本からサンバ、ブラジルから和太鼓が披露されました。



アートプロジェクト「TURN」
日比野克彦氏より説明を受ける

視察報告 −3



BRT「バス・ラピッド・トランジット」

オリンピック・パラリンピックにあわせて整備されました公共交通についてです。主にBRTの拡充、地下鉄4号線の新規路線整備、次世代型路面電車（LRT）の新設です。

BRTとは「バス・ラピッド・トランジット」の略で「バス高速輸送システム」です。専用の道路やレーンを走行し、渋滞知らずで高い定時運行性と高速性を兼ね備えるバス交通システムです。バスの柔軟性と都市鉄道の利便性を有し、建設コストも安価というメリットがあります。

また、新たに整備されたのが、地下鉄4号線と次世代型路面電車（LRT）です。

地下鉄4号線は、宿泊施設が集中する市の中心部から、多くの競技会場がある大会施設の主要な輸送手段として整備されました。



地下鉄4号線

大会期間中は観戦チケットを持っている人や大会関係者のみ利用できる限定的な運行となっていました。

さらに、次世代型路面電車（LRT）の新設です。大会期間中は、サントス・ドゥモン空港から海岸沿いの港湾再開発地区を走行する路線が運行され、オリンピック・パラリンピックの輸送手段として大いに寄与しました。特に、このLRTには日本企業が出資し、地元企業にはない日本企業特有のきめ細やかなマネジメント手法も採り入れて運行されています。

2020東京オリンピック ロゴマーク

2020東京パラリンピック ロゴマーク



リオ・オリンピックにてボランティア活動した方々の写真を閉会式の壁に掲示！

新しい公共交通網は、オリンピック・パラリンピックの後、リオデジャネイロ市民の生活を支え重要な交通インフラとなります。

オリンピック・パラリンピックの開催を契機にしました都市整備は、前回の2012年のロンドン大会でも行われており、東京大会においても、その後の都市発展を見据え、大胆に企図していかなければならないと強く考えています。

大会後の都民益と都市の発展につながる交通・輸送インフラの整備を進めていきたいと思います。

東京 ひとりひとりが 耀く まちへ　プロフィール　石毛しげる

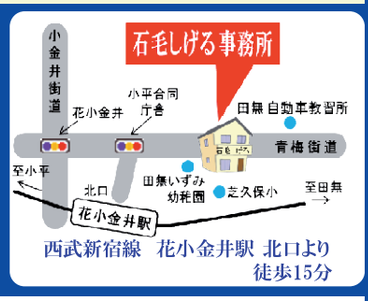


朝の駅立ち「都政報告」継続中！

- 昭和28年生まれ。
- 慶應大学(文)卒業、法政大学(経済)卒業、早稲田大学大学院修士課程修了(公共経営研究科)
- 早稲田大学大学院博士課程修了(公共経営研究科)
- 保谷市議会議員（当選5期）西東京市議会議員（当選1期）、西東京市議会議長、東京都議会議員（当選3期）
- 都議会警察・消防委員会副委員長、経済・港湾委員会委員長、東京都監査委員、都議会民主党幹事長を歴任。
- ＜現在＞● 東京都議会議員　● (財)東京都交響楽団評議員
- 都議会2020オリンピック・パラリンピックを成功させる議員連盟副会長
- 都議会ラグビーワールドカップ2019日本大会を成功させる議員連盟副会長
- 住職

石毛しげる ホームページは、こちらから

都議会民進党西東京市支部
東京都議会議員 石毛しげる 事務所
〒188-0014　西東京市芝久保町3-6-23
TEL：042-460-0855　FAX：042-460-0856
E-mail　shigeru@ishige.info　http://www.ishige.info



西武新宿線　花小金井駅 北口より
徒歩15分

※ ご意見、ご要望をお寄せください。(E-mail または FAXでお願いいたします。)